

民主主義と憲法を守ろう

オンライン

2.11 福井県集会

日時 2月11日(木) 午後2時半～4時半
場所 県教育センター (NHK福井放送局向) 301・302 会議室
*参加は無料です。

*参加を希望される方は、実行委員会(福井高教組)にお申し込みください(2月5日まで)。
*本会場への参加も感染防止対策を徹底し、20名に制限して受け付けます。お問い合わせください。

●「建国記念の日」とされる2月11日は、どんな日でしょうか？

『日本書紀』では、およそ2680年前に神武天皇が即位した日にあたることから、天皇主権の明治憲法下では「紀元節」という祝日でした。

●しかし、2680年前も前の日本は縄文時代であり、神武天皇が架空の人物であることは常識です。2月11日が、国民主権の国の「建国の日」にふさわしいはずはありません。

●私たちは、科学的根拠もなく2月11日を「建国記念の日」と定めて祝意を強要することに反対し、思想・信条の自由、平和と民主主義の前進を求めて、1971年から毎年集会を開いています。

●新型コロナウイルス感染拡大防止のために重要な儀式が相次いで取り止めになるなか、秋篠宮の「立皇嗣の礼」が11月8日に強行されました。秋篠宮は皇室典範特例法に基づいて昨年5月1日に皇位継承順位一位の皇嗣となっており、立皇嗣の礼はお披露目の儀式にあたります。

河西先生は福井で講演されるにあたり、「平成の天皇の退位や眞子内親王の結婚をめぐる問題は、天皇・皇族の人権というものを提起したようにも思われます。この点につき、憲法が制定される前、三笠宮がある提言をしました。それを読み解きつつ、象徴天皇制の歴史を振り返りながら、象徴天皇制と人権・科学の問題について考えてみたい」と述べられています。一緒に考えてみましょう。

「建国記念の日」にあたって考えてみましょう

講演

「象徴天皇制と人権・科学」

— 歴史と現在から考える —

名古屋大学大学院人文学研究科准教授 河西 秀哉 氏



プロフィール

1977年 名古屋市生まれ
2000年 名古屋大学文学部人文学科卒、2008年同大学院文学研究科博士課程後期修了
「文化平和国家」と象徴天皇 道徳・国家・マスコミで博士(歴史学)
2005年 京都大学大学文書館助手、2007年助教
2011年 神戸女学院大学文学部総合文化学科専任講師、2014年准教授
2018年 名古屋大学大学院人文学研究科准教授

主な著書：『近代天皇制から象徴天皇制へ』(吉田書店)、
『天皇制と民主主義の昭和史』、『平成の天皇と戦後日本』(いずれも人文書院)など
進行中の研究：「ドイツの史料調査に基づく日独の立憲君主制に関する国際比較研究」

主催 2021「2.11福井県集会」実行委員会

(連絡先) 福井高教組 0776-23-0473 [第1刷]